



# 第1期定時株主総会 招集ご通知

日時

2025年6月24日（火）  
午後6時30分  
（受付開始 午後6時）

場所

東京都中央区八重洲二丁目2番1号  
東京ミッドタウン八重洲カンファレンス  
4階「大会議室1+2」  
（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）

## 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 取締役9名選任の件
- 第3号議案 会計監査人選任の件
- 第4号議案 取締役及び監査役の報酬額設定の件

## インターネット又は書面（郵送）による 議決権行使期限

2025年6月23日（月）午後5時15分まで

決議通知に関するご案内

決議ご通知は、郵送はせず、当社ウェブサイト  
(<https://www.sbirheoshifumi.rheos.jp/>) に掲載いたします。

# ごあいさつ

---

## ファイナンシャル・インクルージョン の実現に向けた新たな挑戦

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年4月に東京証券取引所グロース市場へ上場したレオス・キャピタルワークス株式会社が、2024年4月に持株会社体制へ移行したことに伴ない当社「SBIレオスひふみ株式会社」が設立され、2025年3月期は当社グループが次のステージに進む上で重要な節目となりました。

2025年3月期を振り返ると、グループの中核であるレオス・キャピタルワークス株式会社において、未上場企業への投資が可能な投資信託「ひふみクロスオーバーpro」の運用をスタートしました。お客様や販売パートナー様からもご好評頂き、順調に残高を伸ばしております。また、新規事業として、オンラインで金融教育を行う「フィナップ株式会社」と寄付プラットフォームを運営する「株式会社Kiffy」を立ち上げました。

これらの事業拡大は、株主の皆様の利益向上はもとより、広く投資家の皆様へ新たな選択肢を提供するものであり、ファイナンシャル・インクルージョン（金融包摂）の実現にむけた取り組みの第一歩だと考えております。

今後も投資家の皆様や社会にとって価値ある機会を創造し、積極的かつ大胆に事業を推進してまいりますので、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 会長兼社長 グループCEO

藤野英人

株主各位

証券コード 165A  
(発信日) 2025年6月2日  
(電子提供措置の開始日) 2025年5月29日

東京都千代田区丸の内一丁目11番1号

**SBIレオスひふみ株式会社**

代表取締役会長兼社長 **藤野 英人**

## 第1期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第1期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイトに掲載しておりますので、以下のウェブサイトアクセスの上、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

### 【当社ウェブサイト】

<https://www.sbirheoshifumi.rheos.jp/>

(上記ウェブサイトアクセスして、「投資家情報」「株主総会」を順に選択の上、ご確認ください。)



### 【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

(上記ウェブサイトアクセスして、銘柄名(SBIレオスひふみ)又は証券コード(165A)を入力・検索いただき、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択の上、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。)



なお、当日のご出席に代えて、インターネット又は書面（郵送）により議決権を行使することができませんので、お手数ながら「株主総会参考書類」をご検討の上、2025年6月23日（月）午後5時15分までに議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

また、本株主総会の様子をご自宅等から、パソコン・タブレット・スマートフォンによりご覧いただけるよう、インターネットによるライブ配信を実施いたします。なお、ライブ配信を通じての議決権行使やご発言等はできませんので、あらかじめご了承願います。

ライブ配信の詳細につきましては、6～7ページをご参照ください。

敬 具

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

## 記

<b>1 日 時</b>	2025年6月24日(火曜日) 午後6時30分(受付開始:午後6時)
<b>2 場 所</b>	東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲カンファレンス4階「大会議室1+2」 (末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照ください。)
<b>3 目的事項</b>	<b>報告事項</b> 1. 第1期(2024年4月1日から2025年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計 算書類監査結果報告の件 2. 第1期(2024年4月1日から2025年3月31日まで) 計算書類報告の件 <b>決議事項</b> 第1号議案 剰余金処分の件 第2号議案 取締役9名選任の件 第3号議案 会計監査人選任の件 第4号議案 取締役及び監査役の報酬額設定の件
<b>4 議決権行使につい てのご案内</b>	4ページに記載の【議決権行使についてのご案内】をご参照ください。

以 上

- 当日ご来場いただいた際は、お手数ながら議決権行使書用紙を、会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、前記の各ウェブサイトにて修正内容を掲載させていただきます。
- 株主総会ご出席者のお土産をご用意しておりません。あらかじめご了承ください。
- 電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面には記載しておりません。なお、監査役及び会計監査人は次の事項を含む監査対象書類を監査しております。
  - ① 事業報告の「新株予約権等の状況」、「会社役員の状況」の一部(責任限定契約の内容の概要、補償契約の内容の概要等及び役員等賠償責任保険契約の内容の概要等)、「会計監査人の状況」、「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」、「会社の支配に関する基本方針」及び「剰余金の配当等の決定に関する方針」
  - ② 連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」及び「連結注記表」
  - ③ 計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」

当社ウェブサイト <https://www.sbirheoshifumi.rheos.jp/>



## 議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、株主の皆さまの大切な権利です。株主総会参考書類をご検討の上、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。議決権を行使する方法は、以下の3つの方法がございます。

### 株主総会にご出席される場合

議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

日 時

**2025年6月24日（火曜日）**  
**午後6時30分**  
 (受付開始：午後6時)

### 書面（郵送）で議決権を行使される場合

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示の上、ご返送ください。

行使期限

**2025年6月23日（月曜日）**  
**午後5時15分到着分まで**

### インターネットで議決権を行使される場合

次ページの案内に従って、議案の賛否をご入力ください。

行使期限

**2025年6月23日（月曜日）**  
**午後5時15分入力完了分まで**

## 議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

**議決権行使書** 株主番号 ○○○○○○ 議決権の数 XX 個

○○○○ 御中

××××年 ×月××日


(可取様)

1. \_\_\_\_\_  
 2. \_\_\_\_\_  
 3. \_\_\_\_\_  
 4. \_\_\_\_\_

スマートフォン用議決権行使ウェブサイトログインQRコード

見本

○○○○○○○

→ こちらに議案の賛否をご記入ください。

※議決権行使書用紙はイメージです。

議決権行使書において、各議案につき賛否の表示をされない場合は、賛成の表示があったものとしてお取扱いいたします。インターネットと書面により重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使を有効なものとしたします。また、インターネットによって複数回議決権を行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。

# インターネットによる議決権行使のご案内

## QRコードを読み取る方法「スマート行使」

議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。



議決権行使コードおよびパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

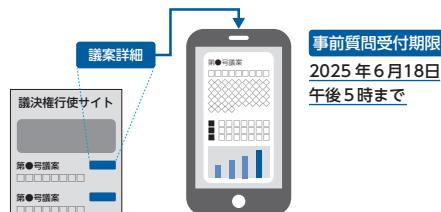
「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですがPC向けサイトへアクセスし、「議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログイン、再度議決権行使をお願いいたします。

※QRコードを再度読み取っていただくと、PC向けサイトへ遷移できます。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

スマート行使の画面上で  
株主総会議案の参照と事前質問が可能です



### 事前質問受付のご案内

本株主総会においては、株主総会ポータルを通じて、株主様より議案に関するご質問を事前に承ります。いただいたご質問の中で株主の皆さまの関心が高いと思われるご質問については、本株主総会にて取り上げさせていただきます。上記の議決権行使方法と同様に、株主総会ポータルにアクセスいただき、トップ画面から「事前質問へ」ボタンをタップ/クリックします。「事前質問のご入力」画面が表示されますので、以降は画面の案内に従ってご質問をご入力ください。

※いただいたご質問に対して、個別に回答はいたしませんのでご了承ください。

## 議決権行使コード・パスワードを入力する方法

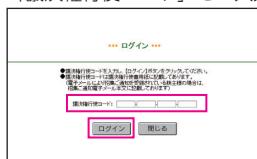
議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net>

1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。



・「次へすすむ」をクリック

2 議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」をご入力ください。



・「議決権行使コード」を入力  
・「ログイン」をクリック

3 議決権行使書用紙に記載された「パスワード」をご入力ください。



・「パスワード」を入力  
・実際にご使用になる新しいパスワードを設定してください  
・「登録」をクリック

※操作画面はイメージです。

4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

インターネットによる議決権行使でパソコンやスマートフォンの操作方法などがご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル  
電話番号：0120-652-031 (フリーダイヤル)  
(受付時間 9:00~21:00)

## インターネットによるライブ配信のご案内

本株主総会の様子をご自宅等から、パソコン、タブレット、スマートフォンによりご覧いただけるよう、インターネットによるライブ配信を実施いたします。

ライブ配信は、バーチャル株主総会支援サービス「Sharely（シェアリー）」を通じて行います。ただし、本ライブ配信でのご参加は会社法上、株主総会への出席として認められる出席型ではなく、株主総会の視聴のみの参加型となります。そのため、ライブ配信を通じての議決権行使やご発言等はできません。事前にインターネット又は郵送等により議決権をご行使くださいますようお願いいたします。

なお、当日の会場撮影は、ご出席株主様のプライバシーに配慮しますが、やむを得ずご出席株主様が映りこんでしまう場合がございます。あらかじめご了承ください。

### 1 配信日時

2025年6月24日（火）午後6時30分から株主総会終了時刻まで

※株主総会の開始は午後6時30分からとなりますが、開始15分前よりライブ配信は開始されます。

### 2 ご視聴方法

以下のライブ配信ウェブサイトよりアクセスいただき、「株主番号（9桁の半角数字）」「株主様ご自身の郵便番号（7桁の半角数字）」の2項目をご入力し、「ログイン」ボタンを押してください。



ライブ配信ウェブサイト <https://web.sharely.app/login/sbirheoshifumi1>

議決権行使書

株主番号 ○○○○○○○○ 議決権の数 XX 個

○○○○○ 御中

××××年 ×月××日

郵便番号 ○○○○○○

スマートフォン用議決権行使ウェブサイト ログインQRコード

見本

SBIレオスひふみ株式会社 定時株主総会

株主番号 012345678

郵便番号 150-0044

ログイン

お手元に届いた議決権行使書用紙に記載されている、株主番号、郵便番号を用い、以下の要領でログインしてください。(PC・スマートフォンどちらも同じログイン画面イメージとなります)

1. 株主番号、郵便番号を入力
2. 「ログイン」ボタンを押す

(注) 2025年4月1日以降に住所変更をお届けの株主様について、お送りした議決権行使書に記載の郵便番号・住所が新しいものに更新されている場合は、2025年3月31日時点のものをご入力ください。

### 3 ご注意事項

- ・ご視聴は、株主様ご本人のみとさせていただきます。
- ・ライブ配信を通じての議決権行使やご発言等はできません。事前にインターネット又は郵送等により議決権をご行使くださいますようお願いいたします。
- ・撮影、録画、録音、保存、SNS等での公開等は固くお断りいたします。万が一発見した場合には、法的な措置を取らせていただくこともございますのでご了承ください。
- ・ご視聴いただく際の通信料金等は、株主様のご負担となります。
- ・ご使用のパソコン環境(機種、性能等)やインターネットの接続環境(回線状況、接続速度等)により、映像や音声に不具合が生じる場合がございますのであらかじめご了承ください。
- ・株主総会当日において、ご視聴者様側の環境等の問題と思われる原因での接続不良・遅延・音声のトラブルにつきましてはサポートできかねます。あらかじめご了承ください。
- ・やむを得ない事情により、ライブ配信を行うことができなくなる可能性がございます。その場合には、当社ウェブサイト (<https://www.sbirheoshifumi.rheos.jp/>) にてお知らせいたします。
- ・配信システムに関するご不明点に関しましては、下記FAQサイトをご確認ください。  
<https://sharely.zendesk.com/hc/ja/sections/360009585533>

### 4 ライブ配信に関するお問い合わせ先

#### 視聴方法等について

ライブ配信に関するヘルプデスク  
バーチャル株主総会支援サービス  
「Sharely (シェアリー)」専用ダイヤル

電話：03-6683-7664

受付時間：2025年6月24日(火) 株主総会当日  
午後5時30分から株主総会終了時刻まで

# 株主総会参考書類

## 第1号議案

## 剰余金処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

### 期末配当に関する事項

当期の期末配当につきましては、当期の業績並びに今後の事業展開等を勘案し、以下のとおりといたしたいと存じます。

配当財産の種類	金銭
配当財産の割当てに関する事項 及びその総額	当社普通株式1株につき金 3円80銭 配当総額 370,302,780円
剰余金の配当が効力を生じる日	2025年6月25日

なお、中間配当として1株につき金3円40銭をお支払いしておりますので、当期の年間配当金は1株につき金7円20銭となります。

(注) 当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき8株の割合で株式分割を行っているため、中間配当については、当該株式分割を考慮した金額を記載しています。

第2号議案

## 取締役9名選任の件

取締役全員（9名）は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、取締役9名の選任をお願いするものがあります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位・担当	
1	ふじの <b>藤野 英人</b>	代表取締役会長兼社長 グループCEO	<b>再任</b>
2	ゆあさ <b>湯浅 光裕</b>	代表取締役副社長 グループCOO	<b>再任</b>
3	しらみず <b>白水 美樹</b>	専務取締役 グループCHRO	<b>再任</b>
4	なかみち <b>中路 武志</b>	取締役 コンプライアンス本部長 グループCCO	<b>再任</b>
5	なかがわ <b>中川 涉行</b>	管理本部長兼経理財務部長 グループCFO	<b>新任</b>
6	あさくら <b>朝倉 智也</b>	取締役	<b>再任</b>
7	なかむら <b>中村 利江</b>	取締役	<b>再任</b> <b>社外</b> <b>独立</b>
8	かきうち <b>垣内 俊哉</b>	取締役	<b>再任</b> <b>社外</b> <b>独立</b>
9	みき <b>三木 桂一</b>	—	<b>新任</b> <b>社外</b> <b>独立</b>

**再任** 再任取締役候補者 **新任** 新任取締役候補者 **社外** 社外取締役候補者 **独立** 証券取引所の定めに基づく独立役員

候補者番号 **1**  
 ふじの **藤野** ひでと **英人**

再任

生年月日

1966年8月29日

所有する当社の株式数

4,052,000株

取締役会出席状況

16/18回

略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

1990年4月	野村投資顧問株式会社（現 野村アセットマネジメント株式会社）入社	2009年10月	同社 取締役CIO
		2015年10月	同社 代表取締役社長 最高投資責任者
1996年10月	ジャーディン・フレミング投信・投資顧問株式会社（現 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社）ファンドマネージャー	2020年6月	同社 代表取締役 会長兼社長 最高投資責任者
		2021年2月	みらいターボ株式会社 代表取締役社長（現任）
2000年2月	ゴールドマン・サックス・アセットマネジメント株式会社ポートフォリオ・マネージャー	2021年3月	VIXion株式会社 取締役（現任）
		2021年4月	レオス・キャピタルパートナーズ株式会社取締役（現任）
2003年8月	レオス株式会社（現 レオス・キャピタルワークス株式会社）入社	2024年4月	レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役社長CIO
2003年9月	同社 代表取締役社長	<b>2024年4月</b>	<b>当社代表取締役 会長兼社長 グループCEO（現任）</b>
2009年2月	同社 社長付CIO		
2009年9月	同社 CIO兼ひふみ投信運用責任者	2025年2月	レオス・キャピタルワークス株式会社代表取締役社長（現任）

取締役候補者とした理由

藤野英人氏は、レオス・キャピタルワークス株式会社の創業メンバーであり、ファンドマネージャーとして豊富なキャリアを持っております。また、一般社団法人投資信託協会の理事を過去に務める等、投資啓発活動にも注力しております。レオス・キャピタルワークス株式会社及び当社の事業成長の実績等、経営者として豊富な経験と幅広い見識も有しており、当社の持続的な企業価値向上への貢献が期待できると判断しております。

候補者番号 2

ゆ あさ みつ ひろ  
湯 浅 みつ ひろ  
光 裕

再任

生年月日

1965年1月7日

所有する当社の株式数

3,524,000株

取締役会出席状況

18/18回

#### 取締役候補者とした理由

湯浅光裕氏は、レオス・キャピタルワークス株式会社の創業メンバーであり、ファンドマネージャーとして豊富なキャリアを持っており同社の運用部門の最高投資責任者であります。同社及び当社の事業成長の実績等、経営者として豊富な経験と幅広い見識も有しており、当社においても持続的な企業価値向上への貢献が期待できると判断しております。

#### 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

1990年10月	ロスチャイルドアセットマネジ メント 入社	2003年8月	レオス・キャピタルワークス株 式会社 取締役運用部長
2000年10月	ガートモア・アセットマネジメン ト株式会社（現 ジャナス・ヘン ダーソン・インベスターズ・ジャ パン株式会社）入社	2015年10月	同社 取締役運用本部長
		2020年6月	同社 代表取締役副社長 運用 本部長
		2021年4月	同社 代表取締役副社長
2003年4月	レオス株式会社（現 レオス・キャ ピタルワークス株式会社）代表 取締役社長	2024年4月	当社代表取締役副社長グループ COO（現任）
		2025年2月	レオス・キャピタルワークス株 式会社 代表取締役副社長 CIO（現任）

候補者番号 3

しら みず み き  
白 水 み き  
美 樹  
(遠藤 美樹)

再任

生年月日

1967年6月8日

所有する当社の株式数

1,440,000株

取締役会出席状況

18/18回

#### 取締役候補者とした理由

白水美樹氏は、インターネット証券業務に長く携わり業界への理解が深く、レオス・キャピタルワークス株式会社入社後も営業及びマーケティングの観点から同社の事業成長に貢献する等、経営者として豊富な経験と幅広い見識も有しており、当社においても持続的な企業価値向上への貢献が期待できると判断しております。

#### 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

1990年4月	第一証券株式会社（現 三菱UFJ モルガン・スタンレー証券株式会 社）入社	2020年6月	同社 常務取締役営業本部長
		2020年11月	同社 常務取締役総合企画本部長
1996年2月	ソニー生命保険株式会社 入社	2021年2月	L'atelier du sol株式会社 代表 取締役（現任）
1999年3月	DLJ directSFG証券株式会社（現 楽天証券株式会社）入社	2023年6月	レオス・キャピタルワークス株 式会社 専務取締役
	マーサーサービス部		
2008年5月	レオス・キャピタルワークス株式 会社 入社 マーケティング部部 長	2023年6月	レオス・キャピタルパートナ ーズ株式会社 取締役（現任）
		2024年4月	当社専務取締役グループ CHRO（現任）
2009年2月	同社 取締役マーケティング部長		
2015年10月	同社 取締役営業本部長	2025年3月	株式会社Kiffy 代表取締役社長 （現任）

候補者番号 **4**

なか みち たけ し  
**中路 武志**

再任

生年月日

1970年12月7日

所有する当社の株式数  
80,000株

取締役会出席状況  
18/18回

略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

2001年4月	ソフトバンク・インベストメント株式会社 (現 SBIホールディングス株式会社) 入社	2014年6月	SBIライフリビング株式会社 (現株式会社ウェイブダッシュ) 取締役
2005年5月	SBIインベストメント株式会社 入社	2015年4月	SBIインベストメント株式会社 取締役執行役員副社長
2008年3月	SBIインキュベーション株式会社 取締役	2016年7月	SBI Ventures Two株式会社 代表取締役
2008年6月	SBI-HIKARI P.E.株式会社 取締役	2020年6月	SBI-HIKARI P.E.株式会社 代表取締役
2010年6月	SBIモーゲージ株式会社 (現 SBIアルヒ株式会社) 監査役	2022年2月	SBI地方創生支援株式会社 代表取締役
2010年7月	株式会社ナノスタイル (現任) 取締役	2023年6月	レオス・キャピタルワークス株式会社 取締役CCO コンプライアンス本部長 (現任)
2011年3月	SBIインベストメント株式会社 執行役員	2023年12月	レオス・キャピタルパートナーズ株式会社 取締役 (現任)
2012年3月	同社 取締役執行役員	<b>2024年4月</b>	<b>当社取締役グループCCO コンプライアンス本部長 (現任)</b>
2014年6月	同社 取締役執行役員常務		

取締役候補者とした理由

中路武志氏は、SBIグループの複数の会社の取締役を歴任し、管理体制やコンプライアンス体制の強化に従事する等豊富な経験を有しており、当社においても持続的な企業価値向上への貢献が期待できると判断しております。

候補者番号 **5**

なか がわ たか ゆき  
**中川 涉行**

新任

生年月日

1975年8月27日

所有する当社の株式数  
82,200株

略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

1999年4月	日本電信電話株式会社 入社	2023年7月	レオス・キャピタルワークス株式会社 管理本部長CFO兼経理財務部長 (現任)
2001年10月	中央青山監査法人 入所	2024年4月	<b>当社管理本部長グループCFO兼経理財務部長 (現任)</b>
2005年4月	株式会社フレイ 入社		
2006年11月	株式会社東京証券取引所 入社		
2018年10月	レオス・キャピタルワークス株式会社 入社 社長室		
2020年7月	同社 経営企画&広報・IR 室長		
2021年4月	レオス・キャピタルパートナーズ株式会社 監査役		

取締役候補者とした理由

中川涉行氏は、財務経理に関する長年の経験を持ち、当社グループCFOとしての財務戦略の立案遂行の実績を有しており、今後の当社の持続的な企業価値向上への貢献が期待できると判断しております。

候補者番号 **6**

あさくら ともや  
**朝倉 智也**

再任

生年月日

1966年3月16日

所有する当社の株式数  
一株

取締役会出席状況  
18/18回

略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

1989年4月	株式会社北海道拓殖銀行 入行	2019年6月	SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 (現 SBIアセットマネジメントグループ株式会社) 取締役
1990年1月	メリルリンチ日本証券株式会社 (現 BofA証券株式会社) 入社	2020年6月	SBIネオファイナンシャルサービス株式会社 取締役 (現任)
1995年6月	ソフトバンク株式会社 (現 ソフトバンクグループ株式会社) 入社	2021年12月	住信SBIネット銀行株式会社 取締役
1998年11月	モーニングスター株式会社 (現 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社) 入社	2022年7月	SBIホールディングス株式会社 取締役副社長 (現任)
2004年7月	同社 代表取締役社長	2022年11月	岡三アセットマネジメント株式会社 (現 SBI岡三アセットマネジメント株式会社) 取締役 (現任)
2007年6月	SBIホールディングス株式会社 取締役執行役員	2023年6月	SBIアセットマネジメント株式会社 代表取締役会長兼CEO (現任)
2009年5月	モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社 (現 ウェルズアドバイザー株式会社) 代表取締役社長 (現任)	2023年6月	SBIアセットマネジメントグループ株式会社 代表取締役社長 (現任)
2011年4月	SBIアセットマネジメント株式会社 取締役	2023年6月	SBIスマートエナジー株式会社 取締役
2012年7月	モーニングスター株式会社 (現 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社) 代表取締役社長 (現任)	2023年6月	レオス・キャピタルワークス株式会社 取締役
2017年6月	SBIインシュアランスグループ株式会社 取締役 (現任)	2024年2月	SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社 取締役 (現任)
2018年3月	SBI CoVenture Asset Management株式会社 (現 SBIオルタナティブ・インベストメント・マネジメント株式会社) 取締役 (現任)	<b>2024年4月</b>	<b>当社 取締役 (現任)</b>
2018年6月	SBIホールディングス株式会社 専務取締役	2024年5月	SBI-Manアセットマネジメント株式会社 取締役 (現任)
2019年2月	Carret Holdings Inc. Director (現任)	2024年6月	SBIクリプトアセットホールディングス株式会社 取締役 (現任)
2019年2月	SBI地域事業承継投資株式会社 取締役 (現任)	2025年4月	SBIデジタルアセットホールディングス株式会社 代表取締役会長 (現任)

取締役候補者とした理由

朝倉智也氏は、2004年7月からモーニングスター株式会社 (現SBIグローバルアセットマネジメント株式会社) の代表取締役を務める等、投資運用業の成長等の実績が多数あり、投資信託ほか金融商品に関する深い見識や豊富な経験を有しております。また、SBIホールディングスグループの要職を歴任する等、経営者としても幅広い見識と豊富な経験を有しており、当社においても持続的な企業価値向上への貢献が期待できると判断しております。

候補者番号 7

なか むら り え  
中村 利江  
(西村 利江)

再任

生年月日

1964年12月16日

所有する当社の株式数

一株

取締役会出席状況

16/18回

略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

1988年4月	株式会社リフルート 入社	2020年6月	同社 代表取締役会長
1998年1月	株式会社ハークスレイ 入社	2021年4月	株式会社日本M&Aセンター（現株式会社日本M&Aセンターホールディングス） 専務執行役員
2001年3月	株式会社キトプランニング 代表取締役（現任）	2021年8月	レオス・キャピタルワークス株式会社 取締役
2001年7月	夢の街創造委員会株式会社（現株式会社出前館）取締役	2022年3月	エムスリーソリューションズ株式会社 代表取締役社長（現任）
2002年1月	同社 代表取締役社長	2022年6月	エムスリー株式会社 取締役（現任）
2009年11月	同社 代表取締役会長	2024年3月	株式会社アットマーク 取締役（現任）
2009年12月	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 CHRO（最高人事責任者）	2024年4月	エムスリーリアルエステート株式会社 取締役
2010年6月	同社 取締役	2024年4月	当社 社外取締役（現任）
2010年6月	株式会社富士山マガジンサービス 取締役	2025年4月	株式会社イーウェル 取締役（現任）
2011年3月	株式会社オプト（現 株式会社デジタルホールディングス）取締役		
2011年11月	夢の街創造委員会株式会社（現株式会社出前館）取締役会長		
2012年11月	同社 代表取締役社長		

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

中村利江氏は、企業経営に関する豊富な経験、知見を当社の経営に活かしていただき、経営全般に対する助言を受けることにより、当社においてもコーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができると判断しております。

候補者番号 8

かき うち とし や  
垣内 俊哉

再任

生年月日

1989年4月14日

所有する当社の株式数

一株

取締役会出席状況

18/18回

略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

2010年6月	株式会社ミライロ 代表取締役社長（現任）	2022年6月	レオス・キャピタルワークス株式会社 取締役
2013年8月	一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会 代表理事（現任）	2024年4月	当社 社外取締役（現任）
2015年7月	公益財団法人 日本財団パラスポーツサポートセンター 顧問（現任）		

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

垣内俊哉氏は、企業経営に関する豊富な経験、知見、障害者インクルージョンの取組みのご経験を当社の経営に活かしていただき、経営全般に対する助言を受けることにより、当社においてもコーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができると判断しております。

候補者番号 9

み き けい いち  
三 木 桂 一

新任

生年月日

1958年11月4日

所有する当社の株式数

一株

#### 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

1982年4月	大和証券株式会社（現 株式会社大和証券グループ本社）アナリスト	2006年3月	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長
1984年10月	ハンプロ・パンフィック・ファンド・マネジメント（香港）ファンドマネージャー	2010年3月	ラザード・ジャパン・アセット・マネージメント株式会社 代表取締役社長
1990年9月	ジャーディン・フレミング投資顧問株式会社（現 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社）ファンドマネージャー	2014年2月	UBSアセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長
2000年8月	ジャーディン・フレミング投信・投資顧問株式会社（現 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社）代表取締役社長	2018年10月	UBSジャパン・アドバイザーズ株式会社 社外取締役
2002年7月	JPモルガン信託銀行株式会社（現 ニューヨークメロン信託銀行株式会社）代表取締役社長	2019年4月	三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社 社外取締役
2005年2月	ジェー・ビー・モルガン・フレミング・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社（現 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社）代表取締役社長	2019年6月	一般社団法人投資信託協会 理事

#### 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

三木桂一氏は、資産運用業界におけるアナリストやファンドマネージャーとしての実務経験に加え、資産運用会社の代表取締役として経営を主導した実績を有しています。また、一般社団法人投資信託協会の理事を務めた経歴があり、投資信託をはじめとする金融商品や外部環境に対する深い知見も備えています。これらの投資運用及び経営における幅広い見識と豊富な経験は、当社の持続的な企業価値向上に大きく寄与するものと判断しております。

- (注) 1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 中村利江氏、垣内俊哉氏及び三木桂一氏は、社外取締役候補者であります。  
当社は中村利江氏及び垣内俊哉氏を独立役員として東京証券取引所に届け出ており、中村利江氏、垣内俊哉氏及び三木桂一氏が原案どおり選任された場合、独立役員として東京証券取引所に届け出る予定であります。  
中村利江氏及び垣内俊哉氏は、現在当社の社外取締役であり、その在任期間は、本総会終結の時をもって1年3か月となります。
3. 白水美樹氏の戸籍上の氏名は、遠藤美樹であります。
4. 中村利江氏の戸籍上の氏名は、西村利江であります。
5. 朝倉智也氏は、現在、当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の取締役副社長であります。
6. 朝倉智也氏は、現在、非業務執行取締役であり、同氏が原案どおり選任された場合、引き続き非業務執行取締役とする予定であります。
7. 当社は朝倉智也氏、中村利江氏及び垣内俊哉氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項に定める責任について、その職務を行うにつき善意でありかつ重大な過失がなかった場合には、賠償責任を限定する旨の責任限定契約を締結しております。  
なお、当該契約に基づく賠償責任の限度額は法令で定める最低限度額であります。朝倉智也氏、中村利江氏、垣内俊哉氏及び三木桂一氏が原案どおり選任された場合、当社は同4氏との間で上記責任限定契約を継続又は締結する予定であります。
8. 各候補者が所有する当社の株式数は、2025年3月末現在の株式数を記載しております。
9. 当社は、取締役全員を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約の内容の概要については、被保険者が負担することになる法律上の損害賠償金、訴訟費用を補填するもので、すべての保険料については、被保険者は負担しておらず、当社がこれを負担しております。各候補者が取締役に選任され就任した場合、すべての候補者は当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、次回更新時には、同内容での更新を予定しております。
10. 藤野英人氏が所有する当社の株式数は、同氏がその全株式を保有する資産管理会社であるみらいターボ株式会社が所有する株式数を含めた実質所有株式数を記載しております。

**第3号議案****会計監査人選任の件**

当社の会計監査人である東陽監査法人は、本総会終結の時をもって任期満了により退任となります。

つきましては、新たに有限責任監査法人トーマツを会計監査人に選任することにつきご承認をお願いするものであります。なお、本議案は監査役会の決定に基づき付議しております。

監査役会が有限責任監査法人トーマツを会計監査人の候補者とした理由は、現会計監査人の継続監査年数が長期にわたっていることを考慮し、新たな視点での監査が期待できることに加え、会計監査人に必要とされる専門性、独立性、品質管理体制及び監査報酬水準等を総合的に勘案した結果、当社の会計監査人として適任であると判断したためであります。

会計監査人候補者の概要等は次のとおりであります。

(2025年2月末日現在)

名 称	有限責任監査法人トーマツ		
事務所	主たる事務所	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 丸の内二重橋ビルディング	
沿 革	1968年5月	等松・青木監査法人設立	
	1975年5月	トウシュ ロス インターナショナル<TRI> (現デロイト トウシュ トーマツ リミテッド<DTTL>) へ加盟	
	1990年2月	監査法人トーマツに名称変更	
	2009年7月	有限責任監査法人への移行に伴い、名称を有限責任監査法人トーマツに変更	
概 要	資本金	1,202百万円	
	構成人員	社員 (公認会計士)	447名
		特定社員	27名
		公認会計士	2,381名
		公認会計士試験合格者等 (会計士補を含む。)	1,187名
		その他専門職	2,288名
		事務職	87名
		合計	6,417名
	監査関与会社	3,187社 (2024年5月末日現在)	

(注) 有限責任監査法人トーマツが選任された場合、当社は同法人との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額といたします。

## 第4号議案

## 取締役及び監査役の報酬額設定の件

当社の取締役及び監査役の報酬等の額は、当社定款附則第1条において、当社設立の日から本総会終結の時まで、取締役年額600百万円以内（使用人兼務取締役の使用人分の給与を含まない。）、監査役年額50百万円以内とする旨が定められておりますが、当規定は本総会終結の時をもって削除されるため、改めて取締役及び監査役の報酬等の額の設定につきましてお諮りするものであります。

本総会終結の時後の取締役及び監査役の報酬等の額につきましては、次のとおりといたしたいと存じます。

## 1. 取締役

取締役の報酬等の総額は、年額600百万円以内（使用人兼務取締役の使用人分の給与を含まない。うち社外取締役分は年額50百万円以内）とする。

## 2. 監査役

監査役の報酬等の総額は、年額50百万円以内とする。

本議案は、当社の事業規模、役員報酬体系やその支給基準、現在の役員の員数及び今後の動向等を総合的に勘案しつつ、報酬諮問委員会の審議を経て取締役会で決定しており、相当であるものと判断しております。

当社の取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針は「事業報告2. 会社の現況（2）会社役員状況②取締役及び監査役の報酬等」に記載のとおりであります。

なお、現在の取締役は9名（うち社外取締役3名）、監査役は4名（うち社外監査役3名）であります。第2号議案が原案どおり承認可決されますと、取締役は9名（うち社外取締役3名）、監査役は4名（うち社外監査役3名）となります。

以上

# 事業報告 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

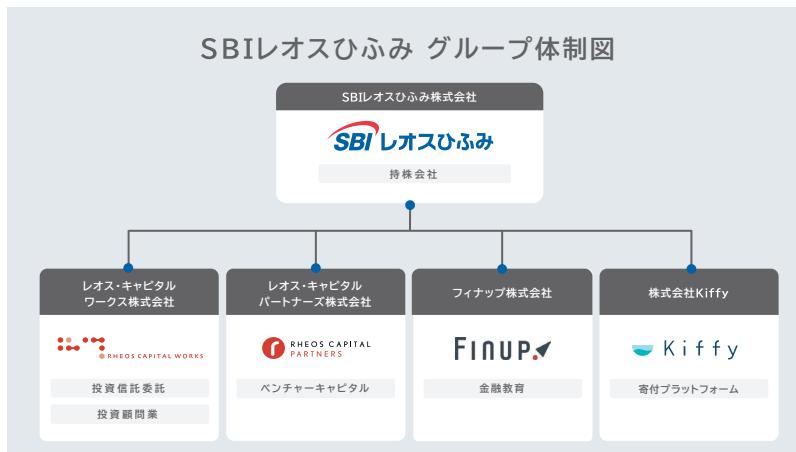
## 1 企業集団の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

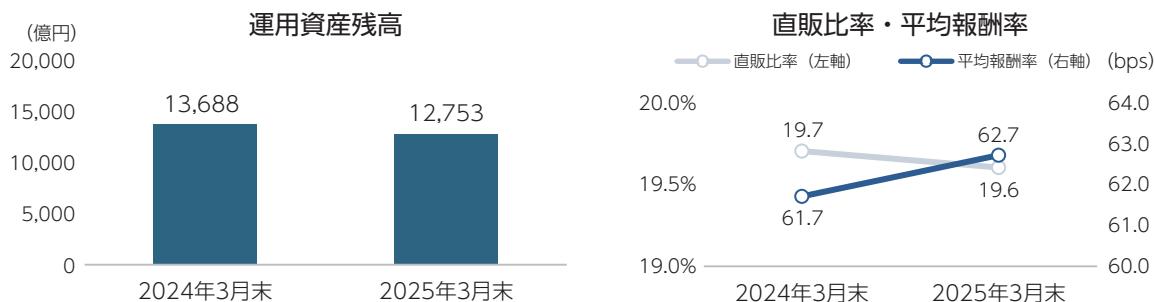
#### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）におけるわが国経済はインフレからの脱却期待や日銀の利上げ姿勢を背景に一年を通して金利が上昇しました。日経平均株価は7月に最高値を更新したものの、日銀の金融引締政策や米国景気の減速懸念等を背景にした円高反転も相まって8月には32,000円割れまで急落しました。その後、景気減速懸念や株売りは行き過ぎとの見方から大きく戻しはしたものの、日銀警戒に加えてトランプ政権による関税政策といった不透明材料が多い中で10月以降はほぼ横ばいに終始、当連結会計年度末の日経平均株価は前年度末比▲11.8%の35,617.56円となりました。このような経済環境の中、当社グループの事業に関連性の高い投資信託市場においては、一般社団法人投資信託協会が公表する「投資信託概況」によれば、ETFを除く公募株式投資信託の純資産総額が、前連結会計年度末の121兆4,779億円から当連結会計年度は135兆6,425億円となりました。

そのような中、当連結会計年度において当社グループは、2024年4月に中長期的な成長を見据えた経営基盤の強化を図るため持株会社体制へ移行しました。これにより、既存の投資運用事業の深化とともに、非金融事業領域への進出が可能となりました。2024年11月にスコラ株式会社との合併で、オンラインを活用した金融教育分野に特化したフィナップ株式会社を設立し、続いて2025年3月に「共助で支える」仕組みを具体化する子会社として、寄付プラットフォームを運営する株式会社Kiffyを設立しました。当社グループはグループ各社の強みを活かし、ファイナンシャル・インクルージョンを通じて、すべての人々が金融サービスの恩恵を享受できる社会の実現と投資文化の普及を引き続き目指してまいります。



当社グループの中核を担うレオス・キャピタルワークス株式会社においては、「ひふみproシリーズ」の運用資産残高は増加しましたが、投資信託全体の純流出額（解約額から設定額を控除した金額）は10億円となり、全体の運用資産残高は基準価額の下落も伴って、前年度末比▲6.8%の1兆2,753億円となりました。また、レオス・キャピタルワークス株式会社が運用する公募投資信託残高に占める直販取扱投信の残高比率（直販比率）は当連結会計年度末で19.6%となり、同公募投資信託の信託報酬率のうち当社グループが受け取る平均報酬率は0.627%となりました。

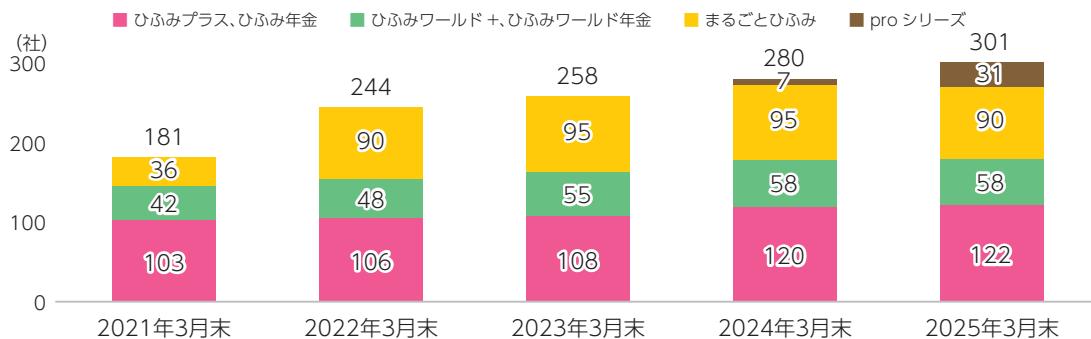


平均報酬率増加の背景には、「ひふみproシリーズ」の運用開始があります。「ひふみproシリーズ」は信託報酬率が年率1.4%前後と、当社グループ内の他商品と比べて相対的に高く設定されており、残高増加が平均報酬率の上昇に寄与しました。「ひふみproシリーズ」2本目である、2024年9月に運用開始した「ひふみクロスオーバーpro」は、NISAを利用して未上場株式に投資できる日本初の投資信託であり、残高は250億円を超えました。また、販売パートナー数も拡大しています。

その他のトピックとしては、「ひふみワールドシリーズ」は運用期間が5年を超えたため条件を満たし、2025年3月にNISAのつみたて投資枠の対象商品に追加されました。この採用により金融機関からの取り扱いニーズが高まることが予想され、当社グループはこれを機に積極的な営業活動を展開していく方針です。

営業活動では、「ひふみアニュアルミーティング」や地方銀行支店への直接訪問等を通じて、お客様との関係強化を図るとともに、YouTubeチャンネル「お金のまなびば!」においては、お金や投資について幅広く発信することで、登録者数は60万人を突破しましたが、直接販売における広告宣伝投資については、新規口座開設数の獲得よりも既存顧客の長期保有につながる施策に注力したことから、直接販売する投資信託のいずれかを保有する顧客数は61,298名（前年度比1,119名減）となりました。一方で、間接販売における「ひふみ」シリーズの取扱い社数は、「ひふみproシリーズ」の投入により延べ301社に拡大しました。

### 各商品を取り扱う販売パートナー数の推移



結果として、当連結会計年度の連結業績は、営業収益11,424百万円、広告宣伝費等の増加により営業費用及び一般管理費が9,354百万円となって営業利益2,070百万円、為替差損等の営業外費用の計上により経常利益2,069百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,485百万円となりました。

なお、当社グループは、投資運用事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### 業績ハイライト



(注) 当社は、レオス・キャピタルワークス株式会社の単独株式移転により、同社の持株会社（完全親会社）として2024年4月1日に設立されました。2023年度以前の状況については、ご参考として同社の数値を記載しております。

	第1期 (2025年3月期)
	金額 (百万円)
営業収益	11,424
営業利益	2,070
経常利益	2,069
親会社株主に帰属する当期純利益	1,485

(注) 当社は、レオス・キャピタルワークス株式会社の単独株式移転により、レオス・キャピタルワークス株式会社の持株会社（完全親会社）として2024年4月1日に設立されたため、前期実績は記載しておりません。

## ② 設備投資の状況

当連結会計年度における設備投資の総額は360百万円であり、主なものは、YouTubeチャンネル「お金のまなびば」の動画制作費用が216百万円、投資信託WEBサービスのソフトウェア投資88百万円であります。

## ③ 資金調達の状況

該当事項はありません。

## ④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

## ⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

## ⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

## ⑦ 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

当社は、2024年10月16日開催の取締役会において、スコラ株式会社との協業による合弁会社新設を決議し、2024年11月22日付で「フィナップ株式会社」を設立いたしました。なお、同社は当社の連結子会社であります。

当社は、2025年2月19日開催の取締役会において「株式会社Kiffy」の新設を決議し、2025年3月10日付で設立いたしました。なお、同社は当社の連結子会社であります。

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

		【参考】 2022年3月期	【参考】 2023年3月期	【参考】 2024年3月期	第1期 (当連結会計年度) (2025年3月期)
営業収益	(百万円)	9,479	9,660	10,309	11,424
経常利益	(百万円)	1,969	1,625	1,797	2,069
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	1,303	1,087	1,313	1,485
1株当たり当期純利益	(円)	13.56	11.31	12.99	14.40
総資産	(百万円)	8,557	8,704	11,211	10,739
純資産	(百万円)	5,095	6,094	7,210	7,008
1株当たり純資産	(円)	52.04	59.30	66.78	67.89

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により、また、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用して算出しています。なお、当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき8株の割合で株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産」を算定しております。
2. 当社は、レオス・キャピタルワークス株式会社の単独株式移転により、レオス・キャピタルワークス株式会社の持株会社(完全親会社)として2024年4月1日に設立されました。2024年3月期以前の状況については、ご参考としてレオス・キャピタルワークス株式会社の決算数値を記載しております。なお、1株当たり情報については、当社が2024年10月1日付で実施した普通株式1株につき8株の株式分割の影響を反映させております。

### ② 当社の財産及び損益の状況

		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	第1期 (当事業年度) (2025年3月期)
営業収益	(百万円)	—	—	—	3,192
経常利益	(百万円)	—	—	—	1,776
当期純利益	(百万円)	—	—	—	1,455
1株当たり当期純利益	(円)	—	—	—	14.10
総資産	(百万円)	—	—	—	8,853
純資産	(百万円)	—	—	—	6,888
1株当たり純資産	(円)	—	—	—	70.68

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により、また、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用して算出しています。なお、当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき8株の割合で株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産」を算定しております。
2. 当社は2024年4月1日に設立されたため、2024年3月期以前の状況については記載しておりません。

### (3) 重要な親会社及び子会社の状況

#### ① 親会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社に対する 議決権比率 (%)	主要な事業内容	当社との関係
SBIホールディングス株式会社	181,924	49.68 (49.68)	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等	－
SBIファイナンシャルサービスズ株式会社	100	49.68	企業グループの金融サービス事業の管理	－

(注) 1. 当社の親会社であるSBIファイナンシャルサービスズ株式会社は、SBIホールディングス株式会社の完全子会社であり、SBIホールディングス株式会社も当社の親会社に該当しております。  
2. 当社に対する議決権比率欄の( )内は間接所有割合で、内数で記載しております。

#### ② 重要な子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)	主要な事業内容
レオス・キャピタルワークス株式会社	322	100.0	投資信託委託業務、投資顧問業務 (投資一任契約に係る業務)
レオス・キャピタルパートナーズ株式会社	100	100.0	投資事業組合財産の管理及び運用

(注) 当社は、2024年4月1日開催のレオス・キャピタルワークス株式会社の臨時株主総会の決議により、同社が保有するレオス・キャピタルパートナーズ株式会社の全株式を現物配当として譲受いたしました。

#### ③ 事業年度末日における特定完全子会社の状況

会社名	住所	帳簿価額の合計額 (百万円)	当社の総資産額 (百万円)
レオス・キャピタルワークス株式会社	東京都千代田区1-11-1	6,805	8,853

## (4) 対処すべき課題

### ① 人的資本経営の強化

当社グループの持続的成長を実現するためには、優秀な人材を確保し、その人材が持つポテンシャルを引き出すことが不可欠です。投資運用業を筆頭に、お客様に価値を提供するためには、専門的知識を有するとともに、知見や経験を継続的に蓄積できる人材を適切に処遇していくことが重要です。そうしたなか、生産年齢人口の減少等を受け、各業界で人材獲得競争が激化しております。

これを受け、十分な経験を積んだ専門性の高い人材を確保すること、未経験であっても有望な若手を採用し、社内において教育を行って育成していくこと、採用した人材が、その持つ価値を発揮できるよう働きやすい環境や制度を整備していくことが重要な課題であると認識しております。

### ② 特定の事業領域からの収益依存の脱却

現在、当社グループの収益構造は、子会社であるレオス・キャピタルワークス株式会社の投資信託委託業務からの収益、特に国内外の株式に投資する投資信託からの収益が大部分を占めております。当社グループの理念に合致し、投資家の方々にとって魅力的な商品は容易に開発できるものではありませんが、運用する投資信託の特性が偏ってしまうことは、特定のマーケットの変動が当社グループの収益基盤に大きな影響を与えることもあり、事業リスクの面から見て当社グループの課題であると考えています。したがって、投資文化の浸透をより進めるにあたっては、新商品の開発の可能性を常に考えながら事業に取り組んでいきます。

また、投資信託委託業務だけでなく、経営理念の実現のため、既存の各子会社の事業拡大の促進及び他の事業領域への拡大を模索するほか、バランスシートを活用したM&Aの推進も視野に入れ、収益基盤の安定化を図り、特定の事業領域からの収益に過度に依存しない健全な事業ポートフォリオの構築を目指します。

### ③ 当社グループ子会社の事業拡大の追求

当社グループは複数の子会社を有しており、当社グループの理念であるファイナンシャル・インクルージョンの実現という方向性で一致しつつ、各社が独自性ある事業領域で活動しています。また、当社グループは他社への少額出資やファンド出資も行っており、出資先から情報を得たり、出資先が持つネットワークを活用したりできる状況にあります。こうしたなか、当社グループ全体の成長に向け、子会社間の相互シナジーを一層発揮していくことが課題だと考えております。

今後、グループ子会社間における情報共有のあり方の改善やグループ子会社間での人的交流の更なる強化等を通じ、子会社各社が有する顧客基盤や取引先ネットワーク、出資先に関連した情報等をより活用できるようにすることで、子会社間の相互シナジーの実現をさらに図ってまいります。

### ④ 当社グループの内部管理体制の強化

当社グループは2024年4月以降、持株会社体制へと移行し、それに伴い子会社や合併会社の数が増加しております。この組織構造の変化に対応し、グループ全体の管理体制を構築・強化することが重要な課題で

あると認識しております。一部の子会社には、金融商品取引業者としての法令遵守の徹底、リスク管理のための内部管理体制の強化が特に求められます。

今後は、子会社の事業に応じた適切な内部管理体制のあり方を模索しつつ、必要な人材の確保や社内教育の充実を図り、継続的な成長を支える効率的かつ安定的な経営を行ってまいります。

#### (5) 当社グループの主要な事業内容 (2025年3月31日現在)

事業区分	事業内容
投資運用事業	投資信託委託業、投資顧問業（投資一任契約に係る業務）及びベンチャーキャピタル業

#### (6) 主要な営業所 (2025年3月31日現在)

##### ① 当社

本社	東京都千代田区
----	---------

##### ② 子会社

レオス・キャピタルワークス株式会社	東京都千代田区
レオス・キャピタルパートナーズ株式会社	東京都千代田区
フィナップ株式会社	東京都千代田区
株式会社Kiffy	東京都千代田区
Rheos CP1号GP有限責任事業組合	東京都千代田区
Rheos CP1号投資事業有限責任組合	東京都千代田区
ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合	東京都千代田区
レオス・エンジェル1号投資事業有限責任組合	東京都千代田区

## (7) 使用人の状況 (2025年3月31日現在)

### ① 企業集団の使用人の状況

事業区分	使用人数	前連結会計年度末比増減
投資運用事業	123 (19) 名	一名増 (一名増)
合 計	123 (19)	一名増 (一名増)

- (注) 1. 使用人数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、嘱託社員、契約社員及びグループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員）は含まれておりません。臨時雇用者数については最近1年間の平均人員を（ ）内に外数で記載しております。
2. 当社グループの事業セグメントは投資運用事業の単一セグメントであるため、セグメント別の使用人数の記載はしていません。
3. 当社は当連結会計年度において、株式移転により設立されたため、前連結会計年度末比増減については記載していません。

### ② 当社の使用人の状況

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
51 (6) 名	一名増 (一名増)	41.5歳	5.7年

- (注) 1. 使用人数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、嘱託社員、契約社員並びに社外及び当社グループから当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員）は含まれておりません。臨時雇用者数については最近1年間の平均人員を（ ）内に外数で記載しております。
2. 当社は当事業年度において、株式移転により設立されたため、前事業年度末比増減については記載していません。
3. 平均勤続年数については、当社グループからの出向者の通算勤続年数を含めております。

## (8) 主要な借入先の状況 (2025年3月31日現在)

該当事項はありません。

## (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

当社は、2023年10月18日付レオス・キャピタルワークス株式会社の取締役会決議及び2023年11月21日付同社の臨時株主総会承認のもと、持株会社（完全親会社）として2024年4月1日に設立され、東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。

また、当社は、2024年4月1日開催のレオス・キャピタルワークス株式会社の臨時株主総会承認により、同社が保有するレオス・キャピタルパートナーズ株式会社の全株式を現物配当として譲受け、直接保有しております。

## 2 会社の現況

### (1) 株式の状況 (2025年3月31日現在)

#### ① 発行可能株式総数 384,000,000株

(注) 2024年10月1日付で普通株式1株につき8株の割合をもって株式分割を実施し、これに伴う定款の変更により発行可能株式総数を48,000,000株から384,000,000株に変更しております。

#### ② 発行済株式の総数 103,416,800株 (うち自己株式5,968,700株)

(注) 1. 2024年4月1日から同年9月30日までの間における新株予約権の行使により、発行済株式の総数は9,500株増加しております。  
2. 2024年10月1日付で普通株式1株につき8株の割合をもって株式分割を実施したことにより、発行済株式の総数は90,456,100株増加しております。  
3. 2024年10月1日から2025年3月31日までの間における新株予約権の行使により、発行済株式の総数は38,400株増加しております。

#### ③ 株主数 15,581名

#### ④ 大株主

株主名	持株数	持株比率
SBIファイナンシャルサービシーズ株式会社	48,399,200株	49.67%
藤野英人	4,052,000株	4.16%
湯浅光裕	3,524,000株	3.62%
鈴木智博	2,114,600株	2.17%
日本証券金融株式会社	1,697,700株	1.74%
遠藤美樹	1,440,000株	1.48%
小松知史	1,166,300株	1.20%
SBIレオスひふみ従業員持株会	951,900株	0.98%
光通信株式会社	896,400株	0.92%
植竹勝治	791,500株	0.81%

(注) 1. 当社は、自己株式を5,968,700株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
3. 上記の当社代表取締役藤野英人氏の持株数は、同氏がその全株式を所有する資産管理会社であるみらいターボ株式会社が所有す

る株式数を含めた実質所有株式数を記載しております。  
4. 上記の当社取締役遠藤美樹氏の持株数は合算（名寄せ）して表示しております。

#### ⑤ 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員に対し交付した株式の状況

該当事項はありません。

#### ⑥ その他株式に関する重要な事項

自己株式の取得について

当社はさらなる株主還元の充実と資本効率の改善を図るため、自己株式の取得について、2025年3月19日開催の取締役会において決議し、以下のとおり取得いたしました。

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	5,968,700株
取得価額	1,193,740,000円
取得日	2025年3月21日

## (2) 会社役員 の 状況 (2025年3月31日現在)

### ① 取締役及び監査役の状況

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役会長兼社長	藤野英人	グループCEO レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役社長 レオス・キャピタルパートナーズ株式会社 取締役 みらいターボ株式会社 代表取締役社長 Vixion株式会社 取締役
代表取締役副社長	湯浅光裕	グループCOO レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役副社長 CIO
専務取締役	白水美樹	グループCHRO 報酬諮問委員会委員 レオス・キャピタルパートナーズ株式会社 取締役 株式会社Kiffy 代表取締役社長 L'atelier du sol株式会社 代表取締役
常務取締役	岩田次郎	グループCAO
取締役	中路武志	グループCCO コンプライアンス本部長 レオス・キャピタルワークス株式会社 取締役CCOコンプライアンス本部長 レオス・キャピタルパートナーズ株式会社 取締役 株式会社ナノスタイル 取締役
取締役	朝倉智也	SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長 ウエルスアドバイザー株式会社 代表取締役社長 SBIインシュアランスグループ株式会社 取締役 SBIオルタナティブ・インベストメント・マネジメント株式会社 取締役 Carret Holdings, Inc. Direcor SBI地域事業承継投資株式会社 取締役 SBIネオファイナンシャルサービシーズ株式会社 取締役 SBIホールディングス株式会社 取締役副社長 SBI岡三アセットマネジメント株式会社 取締役 SBIアセットマネジメント株式会社 代表取締役会長兼 CEO SBIアセットマネジメントグループ株式会社 代表取締役社長 SBIスマートエナジー株式会社 取締役 SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社 取締役 SBI-MANアセットマネジメント株式会社 取締役 SBIクリプトアセットホールディングス株式会社 取締役

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
取締役	中村利江	報酬諮問委員会委員長 エムスリーソリューションズ株式会社 代表取締役社長 エムスリー株式会社 取締役 株式会社アットマーク 取締役 エムスリーリアルエステート株式会社 取締役 株式会社キトプランニング 代表取締役
取締役	垣内俊哉	報酬諮問委員会委員 株式会社ミライロ 代表取締役社長 一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会 代表理事 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター 顧問
取締役	佐藤明	報酬諮問委員会委員 株式会社ワイワイミュージック 代表取締役 株式会社06GOGO 代表取締役
常勤監査役	高見秀三	レオス・キャピタルワークス株式会社 監査役
常勤監査役	高橋修	レオス・キャピタルワークス株式会社 監査役 レオス・キャピタルパートナーズ株式会社 監査役
監査役	安田和弘	堀総合法律事務所 公益財団法人渋沢栄一記念財団 監事 日本グロースキャピタル投資法人 監督役員 トーア・リ85周年記念財団 評議員
監査役	和田耕児	株式会社プロ・スタッフ・ソリューションズ 代表取締役

- (注) 1. 取締役中村利江氏、取締役垣内俊哉氏及び取締役佐藤明氏は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役高見秀三氏、監査役安田和弘氏及び監査役和田耕児氏は、社外監査役であります。
3. 常勤監査役高見秀三氏は、金融機関での長年の業務経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
4. 常勤監査役高橋修氏は、過去に当社子会社の経理財務業務を長年にわたり担当していたことがあり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
5. 監査役安田和弘氏は、弁護士として豊富な業務経験と高度な専門性を有しております。
6. 監査役和田耕児氏は、監査法人に長年勤め、また、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
7. 本総会終結の時をもって常務取締役の岩田次郎氏及び取締役の佐藤明氏は任期満了により退任いたします。
8. 当社は、社外取締役及び社外監査役の全員を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
9. 白水美樹氏の戸籍上の氏名は、遠藤美樹であります。
10. 中村利江氏の戸籍上の氏名は、西村利江であります。

## ② 取締役及び監査役の報酬等

### イ. 役員報酬等の内容の決定に関する方針等

役員の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針に係る事項

当社は、2024年7月17日の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しております。当該取締役会の決議に際しては、あらかじめ決議する内容について報酬諮問委員会へ諮問し、答申を受けております。なお、報酬諮問委員会は、社外取締役3名を含む合計4名で構成されております。

また、取締役会は、当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等について、報酬諮問委員会からの答申が尊重されていることを確認しており、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が下記にその内容の概要を記載する決定方針に沿うものであると判断しております。

取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針の内容の概要は次のとおりです。

#### ・基本方針

当社の取締役の報酬は、役員報酬をコーポレート・ガバナンスにおける重要な項目と考え、①優秀な経営陣の確保とリテンション及びモチベーションに寄与し、②会社の持続成長と株主価値の向上への貢献意識を高め、③業績と連動し、株主との利害の共有を図ることを目的とした報酬体系とします。

取締役の報酬の内訳は、各取締役の役位や職責を踏まえた固定報酬としての「基本報酬」、業績に連動する「業績連動報酬」から構成され、いずれも金銭によるものとします。

なお、社外取締役については、その役割と独立性の観点から、固定報酬としての基本報酬のみとします。

基本方針については、報酬諮問委員会の答申を踏まえ、取締役会にて決定しております。

#### ・基本報酬の額又はその算定方法の決定方針

取締役の「基本報酬」については、その業務の結果に応じて変動はせず、每期一定の金額が決定される月例の固定報酬とします。個別の基本報酬は、役位、職責、遂行能力、担当業務の特性等、報酬サーベイ等の外部の第三者から提供を受けた上場会社の役員報酬に関するデータ等の他社水準、当社社員の給与水準等を勘案し、役位ごとに設けられた上限額の範囲内で、個別に決定します。

なお、当社の代表の職に就任している役員については、一定額を「基本報酬」に加算しております。

また、当社と子会社の間で経営管理契約を締結していることから、当社の役員報酬においては、当社役員の子会社における役割や活動を加味し決定します。これに伴い、子会社において純資産総額が一定以上であるマザーファンドのファンドマネージャーに就任している取締役については、別途、一定額を「基本報酬」に加算し支給することとします。

社外取締役の基本報酬については、その果たす役割及び上場会社の役員報酬に関するデータ等の他社水準等を総合的に勘案して決定します。

- ・業績連動報酬の額又はその算定方法の決定方針

変動報酬は、「短期業績連動報酬」と「長期業績連動報酬」からなり、それぞれ親会社株主に帰属する当期純利益を指標とします。当該業績指標を選定した理由は、報酬と業績との連動性を高め、取締役と株主の皆様との一層の価値共有を進めるためであります。「短期業績連動報酬」は中期経営計画と単年度の業績について指標の達成状況を勘案の上決定します。「長期業績連動報酬」は長期的な会社の持続成長と株主価値の向上への貢献意識の醸成を目的としており、指標の5か年平均の推移から、総合的に決定します。なお、これらの指標実績は、「短期業績連動報酬」に係る指標及び「長期業績連動報酬」に係る指標である親会社株主に帰属する当期純利益（5か年平均）の算定に用いる当事業年度の実績は、1,485,925千円であります。

- ・報酬等の種類ごとの割合の決定方針

基本報酬と業績連動報酬の割合は、標準業績を達成した場合に6：4とします。

## ロ. 当事業年度に係る報酬等の総額等

区分	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額 (千円)			対象となる 役員の員数
		基本報酬	業績連動報酬等	非金銭報酬等	
取締役（うち社外取締役）	323,161 (23,355)	189,360 (23,355)	133,801 (-)	- (-)	8名 (3名)
監査役（うち社外監査役）	36,684 (23,346)	36,684 (23,346)	- (-)	- (-)	4名 (3名)
合 計（うち社外役員）	359,845 (46,701)	226,044 (46,701)	133,801 (-)	- (-)	12名 (6名)

- (注) 1. 当事業年度における取締役の人数は、9名であります。無支給者がいるため支給人数と相違しております。
2. 業績連動報酬等の額の算定の基礎として選定した業績指標の内容、当該業績指標を選定した理由、業績連動報酬等の額の算定方法及び当該業績指標に関する実績は、「イ. 役員報酬等の内容の決定に関する方針等」に記載のとおりであります。
3. 非金銭報酬等は支給しておりません。
4. 取締役の報酬等の額は、2024年4月1日付けの当社定款附則第1条第1項において、「当会社の成立の日から最初の定時株主総会の終結の時までの取締役の報酬等の総額は、年額600百万円以内（使用人兼務取締役の使用人分の給与を含まない。）とする。」と定められております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は、9名（うち、社外取締役は3名）であります。なお、当事業年度は、使用人兼務取締役はおりません。
5. 監査役報酬等の額は、2024年4月1日付けの当社定款附則第1条第2項において、「当会社の成立の日から最初の定時株主総会の終結の時までの監査役報酬等の総額は、年額50百万円以内とする。」と定められております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は、4名（うち、社外監査役は3名）であります。

## ハ. 当事業年度に支払った役員退職慰労金

該当事項はありません。

## 二. 社外役員が親会社等又は親会社等の子会社等（当社を除く）から受けた役員報酬等の総額

該当事項はありません。

### ③ 社外役員に関する事項

#### イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・社外取締役中村利江氏は、株式会社キトプランニング代表取締役、エムスリーソリューションズ株式会社代表取締役社長、エムスリー株式会社取締役、株式会社アットマーク取締役及びエムスリーリアルエステート株式会社取締役であります。当社と各兼職先との間に特別な利害関係はありません。
- ・社外取締役垣内俊哉氏は、株式会社ミライロ代表取締役、一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会代表理事及び公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター顧問であります。当社と各兼職先との間に特別な利害関係はありません。
- ・社外取締役佐藤明氏は、株式会社ワイワイミュージック代表取締役及び株式会社06GOGO代表取締役であります。当社と各兼職先との間に特別な利害関係はありません。
- ・社外監査役高見秀三氏は、レオス・キャピタルワークス株式会社監査役であります。兼職先は当社の連結子会社であります。
- ・社外監査役安田和弘氏は、堀総合法律事務所所属弁護士、公益財団法人渋沢栄一記念財団監事、日本グロースキャピタル投資法人監督役員及びトア・リ85周年記念財団評議員であります。当社と各兼職先との間に特別な利害関係はありません。
- ・社外監査役和田耕児氏は、株式会社プロ・スタッフ・ソリューションズ代表取締役であります。当社と兼職先との間に特別な利害関係はありません。

## ロ. 当事業年度における主な活動状況

区分	氏名	出席状況	主な活動状況と社外役員が果たすことが期待される役割に関して行った職務の概要
取締役	中村 利江	[取締役会] 16/18回(89%) [報酬諮問委員会] 5/5回(100%)	取締役会・経営陣から独立した立場で当社の経営全体を俯瞰し、本質的なリスクや課題を把握した上での助言・提言等のほか、インターネットビジネスにおける幅広い経験と豊富な知識を有しており、当社の企業価値の向上に資する発言を積極的に行っております。また、報酬諮問委員会委員長として、客観的・中立的立場で役員報酬等の決定過程における監督機能を主導しております。
取締役	垣内 俊哉	[取締役会] 18/18回(100%) [報酬諮問委員会] 4/5回(80%)	取締役会・経営陣から独立した立場で当社の経営全体を俯瞰し、本質的なリスクや課題を把握した上での助言・提言等のほか、障害者インクルージョンに関する幅広い経験と豊富な知識を有しており、当社の企業価値の向上に資する発言を積極的に行っております。また、報酬諮問委員会委員として、客観的・中立的立場で役員報酬等の決定過程における監督機能を担っております。
取締役	佐藤 明	[取締役会] 18/18回(100%) [報酬諮問委員会] 5/5回(100%)	取締役会・経営陣から独立した立場で当社の経営全体を俯瞰し、本質的なリスクや課題を把握した上での助言・提言等のほか、資産運用会社の取締役を歴任する等投資運用業や企業経営に関する豊富な経験、知見を有しており、当社の企業価値の向上に資する発言を積極的に行っております。また、報酬諮問委員会委員として、客観的・中立的立場で役員報酬等の決定過程における監督機能を担っております。
常勤 監査役	高見 秀三	[取締役会] 18/18回(100%) [監査役会] 16/16回(100%)	金融業界における幅広い経験と豊富な知識に基づき、専門的見地から、取締役会等の場において経営上・事業上のリスク等に関する事項について指摘をする等、合理的で偏ることのない審議を実施していくために必要な発言を行っております。また会計監査人との定期的な面談等を通じて、コーポレート・ガバナンスの一層の向上に向けて、重要な役割を担っております。
監査役	安田 和弘	[取締役会] 18/18回(100%) [監査役会] 16/16回(100%)	弁護士としての豊富な経験に基づき、専門的見地から、取締役会等の場において経営上・事業上のリスク等に関する事項について指摘をする等、合理的で偏ることのない審議を実施していくために必要な発言を行っております。また会計監査人との定期的な面談等を通じて、コーポレート・ガバナンスの一層の向上に向けて、重要な役割を担っております。
監査役	和田 耕児	[取締役会] 17/18回(94%) [監査役会] 16/16回(100%)	公認会計士としての豊富な経験に基づき、専門的見地から、取締役会等の場において当社が抱える会計・財務上のリスク対応等について指摘をする等、合理的で偏ることのない審議を実施していくために必要な発言を行っております。また会計監査人との定期的な面談等を通じて、コーポレート・ガバナンスの一層の向上に向けて、重要な役割を担っております。

(注) 書面決議による取締役会の回数は除いております。

## 連結貸借対照表 (2025年3月31日現在)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>9,442,114</b>
現金及び預金	2,502,655
顧客分別金信託	2,100,000
営業投資有価証券	299,657
貯蔵品	9,929
前払費用	125,462
未収委託者報酬	4,295,069
未収投資顧問報酬	65,139
その他	44,200
<b>固定資産</b>	<b>1,297,688</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>558,850</b>
建物	411,265
器具及び備品	147,585
<b>無形固定資産</b>	<b>319,817</b>
ソフトウェア	300,004
その他	19,813
<b>投資その他の資産</b>	<b>419,020</b>
投資有価証券	32,500
長期前払費用	10,559
繰延税金資産	189,143
敷金	174,438
その他	12,377
<b>資産合計</b>	<b>10,739,803</b>

(単位：千円)

科目	金額
<b>負債の部</b>	
<b>流動負債</b>	<b>3,374,356</b>
預り金	520,073
未払金	149,247
未払費用	1,770,913
未払法人税等	427,643
未払消費税等	171,549
賞与引当金	219,108
その他	115,821
<b>固定負債</b>	<b>357,249</b>
繰延税金負債	2,650
退職給付に係る負債	135,423
資産除去債務	219,176
<b>負債合計</b>	<b>3,731,606</b>
<b>純資産の部</b>	
<b>株主資本</b>	<b>6,614,645</b>
資本金	332,548
資本剰余金	633,015
利益剰余金	6,842,821
自己株式	△1,193,740
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,028</b>
その他有価証券評価差額金	1,028
<b>新株予約権</b>	<b>915</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>391,609</b>
<b>純資産合計</b>	<b>7,008,197</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,739,803</b>

## 連結損益計算書 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	金額	
<b>営業収益</b>		
委託者報酬	11,237,909	
投資顧問報酬	244,349	
営業投資有価証券関連損益	△58,211	11,424,106
<b>営業費用</b>		
支払手数料	4,490,180	
調査費	824,107	
通信費	32,201	
営業雑経費	109,427	5,455,917
<b>一般管理費</b>		<b>3,898,094</b>
<b>営業利益</b>		<b>2,070,093</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	2,719	
講演、原稿料等収入	4,711	
広告料収入	3,181	
配分金収入	1,667	
業務委託収入	1,430	
その他	1,533	15,242
<b>営業外費用</b>		
支払利息	232	
為替差損	6,014	
支払手数料	8,953	
その他	407	15,607
<b>経常利益</b>		<b>2,069,728</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>2,069,728</b>
法人税、住民税及び事業税	684,860	
法人税等調整額	△29,949	654,910
<b>当期純利益</b>		<b>1,414,818</b>
<b>非支配株主に帰属する当期純損失 (△)</b>		<b>△71,107</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>		<b>1,485,925</b>

## 貸借対照表 (2025年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>1,079,172</b>
現金及び預金	807,016
貯蔵品	587
未収入金	233,083
前払費用	38,232
その他	253
<b>固定資産</b>	<b>7,774,792</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>483,780</b>
建物	452,376
器具及び備品	31,403
<b>無形固定資産</b>	<b>19,684</b>
商標権	3,515
ソフトウェア	16,169
<b>投資その他の資産</b>	<b>7,271,327</b>
投資有価証券	30,009
関係会社株式	6,983,441
関係会社長期貸付金	40,000
長期前払費用	9,866
繰延税金資産	33,571
敷金	174,438
<b>資産合計</b>	<b>8,853,965</b>

科目	金額
<b>負債の部</b>	
<b>流動負債</b>	<b>1,749,664</b>
関係会社短期借入金	1,100,000
未払金	73,567
未払費用	17,146
預り金	12,786
未払法人税等	380,751
未払消費税等	164,989
その他	423
<b>固定負債</b>	<b>215,676</b>
資産除去債務	215,676
<b>負債合計</b>	<b>1,965,341</b>
<b>純資産の部</b>	
<b>株主資本</b>	<b>6,887,708</b>
<b>資本金</b>	<b>332,548</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>6,645,327</b>
資本準備金	332,490
その他資本剰余金	6,312,837
<b>利益剰余金</b>	<b>1,103,572</b>
その他利益剰余金	1,103,572
繰越利益剰余金	1,103,572
<b>自己株式</b>	<b>△1,193,740</b>
<b>新株予約権</b>	<b>915</b>
<b>純資産合計</b>	<b>6,888,623</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>8,853,965</b>

## 損益計算書 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	金額	
<b>営業収益</b>		
関係会社経営管理料	2,454,017	
関係会社受取配当金	738,353	3,192,371
<b>営業費用及び一般管理費</b>		<b>1,400,140</b>
<b>営業利益</b>		<b>1,792,231</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	605	
その他	242	848
<b>営業外費用</b>		
支払利息	7,098	
支払手数料	8,953	
その他	319	16,370
<b>経常利益</b>		<b>1,776,708</b>
<b>税引前当期純利益</b>		<b>1,776,708</b>
法人税、住民税及び事業税	355,220	
法人税等調整額	△33,571	321,649
<b>当期純利益</b>		<b>1,455,059</b>

## 連結計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2025年5月14日

SBIレオスひふみ株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人

東京事務所

指 定 社 員 公認会計士 猿 渡 裕 子

業 務 執 行 社 員  
指 定 社 員 公認会計士 後 藤 秀 洋

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、SBIレオスひふみ株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SBIレオスひふみ株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手するために、連結計算書類の監査を計画し実施する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2025年5月14日

SBIレオスひふみ株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人

東京事務所

指 定 社 員	公認会計士	猿 渡 裕 子
業 務 執 行 社 員		
指 定 社 員	公認会計士	後 藤 秀 洋
業 務 執 行 社 員		

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、SBIレオスひふみ株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第1期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2024年4月1日から2025年3月31日までの第1期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施いたしました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

#### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
  - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
  - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
  - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
  - ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果  
会計監査人東陽監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (3) 連結計算書類の監査結果  
会計監査人東陽監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2025年5月15日

SBIレオスひふみ株式会社 監査役会

常勤監査役	高見 秀三	㊟
社外監査役	高橋 修	㊟
常勤監査役	安田 和弘	㊟
社外監査役	和田 耕児	㊟

以 上

# 株主優待のお知らせ

当社は、この度、当社グループの事業やサービスへの理解を深めていただくことを目的として、株主優待制度を導入いたしました。本制度では、当社子会社であるレオス・キャピタルワークス株式会社が運用する投資信託の贈呈、もしくは寄付をお選びいただけます。株主の皆様へ、当社グループのおお客様としての視点から当社の魅力を再発見していただく機会となれば幸いです。

本ページでは、株主優待制度の概要についてご案内いたします。

## 日本初！※1 株主優待制度による投資信託の贈呈

1,000株以上

レオス・キャピタルワークス株式会社が  
運用する投資信託の口数贈呈※2,3,4

2,000口

or 相当金額の寄付※5

5,000株以上

レオス・キャピタルワークス株式会社が  
運用する投資信託の口数贈呈※2,3,4

10,000口

or 相当金額の寄付※5

※1 当社の基準に基づくものであり、事実と異なる場合がございます。

※2 贈呈の納期は2025年10月～11月ごろを予定しております。贈呈日の基準価額により、実質的な贈呈金額は変動いたします。

※3 2025年3月期末の株主様に贈呈する投資信託は「ひふみクロスオーバーpro」です。「ひふみクロスオーバーpro」は上場企業と未上場企業の境界を越えて投資する公募投資信託です。詳細につきましてはレオス・キャピタルワークス株式会社のホームページをご確認ください (URLはこちら : <https://hifumi.rheos.jp/lp/crossoverpro/>)。また、次回以降、贈呈する投資信託、贈呈する口数に変更になる場合がございます。

※4 投資信託の贈呈は、レオス・キャピタルワークス株式会社の直販口座における贈呈に限らせていただきます。

※5 ご同意いただいた株主様からの寄付金を当社がまとめて寄付いたします。領収証の発行はいたしかねますので、ご了承ください。

【株主優待に関するお問い合わせ窓口】

Email : [ir@sbirheoshifumi.rheos.jp](mailto:ir@sbirheoshifumi.rheos.jp)

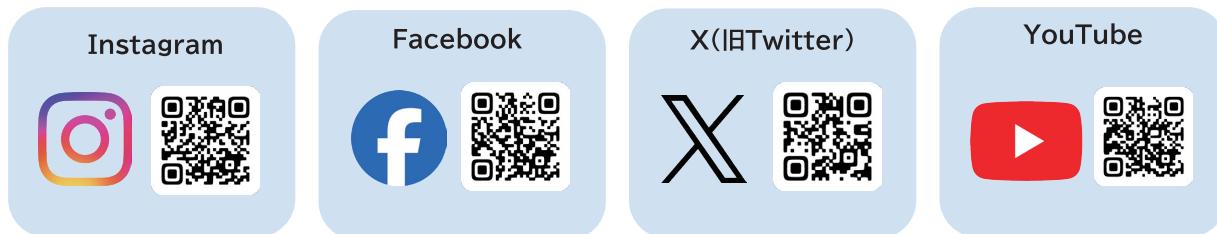
件名に「株主優待に関するお問合せ」と記載の上、送信下さい。

順次ご回答・お返事いたしますが、しばらくお時間をいただく場合がございます。

## IRからのお知らせ

### SNSアカウントのご案内

各種SNSを通じて最新情報を発信しております。ぜひフォローをお願いいたします。



### メール配信登録のご案内

IR情報更新時に、メール配信を行っております。

ご登録は、以下の二次元コードから当社HPのIRニュースページにアクセスいただき、画像の赤枠部分よりお手続きをお願いいたします。



#### ● IRニュース配信をご希望の方

IRニュース配信をご希望の方はこちらよりご登録下さい。

mailnews@rheos.jp

決算・適時開示  IR資料  お知らせ (IRイベント等)

「個人情報保護宣言」を確認し同意しました。

登録

<https://www.sbirheoshifumi.rheos.jp/ir/news/>

# 定時株主総会会場ご案内図

会場

東京ミッドタウン八重洲カンファレンス 4階「大会議室1+2」

東京都中央区八重洲二丁目2番1号

交通

JR線「東京駅」八重洲中央口 徒歩2分

東京メトロ銀座線「京橋駅」8番出入口 徒歩3分

## ■地上からお越しになる場合



← 最寄駅からの徒歩コース    地下ネットワーク



## ■地下からお越しになる場合

東京ミッドタウン八重洲は、東京駅と地下で直結しています。

八重洲地下街を経由して「ヤエチカ出口2または出口3」から入館することもできます。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。